

「怖い話」

登場人物

熊 <small>くまのみどろ</small> 林御堂	(地蔵通り商店街青年会)	30歳くらい)
蔵 <small>ぞうご</small> 五	(地蔵通り商店街青年会)	30歳くらい)

怪談の音響F I

暗い中、蠟燭っぽい照明がゆらめきはじめる

照明S I（ただし、極めて暗い）

舞台セットはイス二つ。センターにいる蔵五の顔が揺らめく蠟燭の明かりにうつすらと照らされる。

蔵五、客席に向かい語り始める。

蔵

五

これは友だちの彼氏が実際に体験した話なんだけど。7月の、ある夜。その日は、肌寒い日でね。なのに、体に湿り気のある空気がまとわりつく、そんな日で。

その日、彼、仕事でみよくにトラブルばかり起きて。やっと仕事が終わって、ふ、と、時計を見ると、夜中の二時。丑三つ時。やだなあ。とは思ったけど、とにかく帰ろうと外に出た。けど、今度はタクシーがつかまらない。もういいや。と、歩くことにした。後から考えるとねどうしてそんなことしちゃったんだろう。・・・だけど。彼、歩き始めてね。三十分くらい歩いたところかなあ。もうあと少しで家につく。なのに。普段通る道が通行止め。「あ、やっぱり、今日ついてないなあ」って。ほんと、そこをまっすぐ通ればすぐなのに。しかも、そこから家まで、次に近い道は、お墓の横を通らなきゃいけない。やだなあ。やだなあ。人通りもない。深夜。でも、どんどん寒くなる。とにかく帰りたい。で、結局、街灯もない真っ暗な、お墓の横の路地を歩き始めた。

「あれ」

何かが聞こえたような気が。でも立ち止ると何も聞こえない。で、また歩き始めると、「ヒィー、ヒィー・・・」。

怖くなって足を速めるんだけど、かえってどんどん音が近づいてくる。「ヒィー、ヒィー」。とにかく通り過ぎようと思うんだけど。足が。止って。動けない。次の瞬間！何かに取りつかれたように、音の方向に向かう彼。音が聞こえてくるお墓の横の草むらの前に立つと、その生い茂った草を、ザッ、と。・・・そこには

6匹の子猫が捨てられていたんだって

(ひいひい、おおおおお こわあああああ)

音響F O

蔵五の横に居た熊笹御堂、照明のスイッチのところ（と思われるところ）に移動し、スイッチをつけるしぐさ。照明、明るくなる。

蔵

五

まぶしい

熊埜御堂 怖い話？！
蔵 五 そうだ。
熊埜御堂 ていうかイベント
蔵 五 うん
熊埜御堂 もーあんな話じゃ人集められないよ
蔵 五 え？怖かったでしょ。
熊埜御堂 えっとね・・・なんていうかな。怖さが違うっていうか切り口間違ってるっていうか。
蔵 五 細かいなあ
熊埜御堂 細かくない。「怪談ナイト」。「小僧通り商店街百物語」だよ。怖くなきゃ・・・やっぱお化け屋敷のほうがいいかなあ？
蔵 五 (少し必死に) 準備も人手も大変って言ったのくまちゃんじゃん
熊埜御堂 だよねえ。やっぱ怪談だよ。ね、ね、ね、ちよつと私が話してみたい？
蔵 五 え
熊埜御堂 (にやり) とっておきがあるのよ。
蔵 五 ・・・・これは、学生の頃友人に聞いた話なんだけど
熊埜御堂 え？誰？
蔵 五 え？
熊埜御堂 はっちゃん？めぐ？
蔵 五 ・・・・いや、そこはさ
熊埜御堂 あゆ？まゆ？みゆ？
熊埜御堂 あの、ね、「友人に聞いた」とかはほら、便宜上っていうか、接頭語みたいなもんだから
蔵 五 気になる
熊埜御堂 ・・・・あんたの知らない人
蔵 五 知らない人か？
熊埜御堂 ていうか、ホントは友だちの友だちの友だちの友だちくらいの人体験談でも友人の話って言ったりするもんだから。
蔵 五 ああ、古い師に相談するときにホントは自分の話なのに友だちがこんなこと知ってたんですけどみたいなの
熊埜御堂 ・・・・ん？
蔵 五 自分の彼氏の話なのに「友だちの彼氏がこんな人で」みたいなの？
熊埜御堂 たぶんちよつと違う

熊埜御堂

・
・
・

蔵五

目立つ目立つ

熊埜御堂

・ ・ ・ ・ ・
ごっちゃん。わざとやってるでしょ。

蔵五

え？

熊埜御堂

あんた、ホントは怖い話苦手なんでしょ

蔵五

そそそそそそそそんなことないよ

熊埜御堂

わかりやす

蔵五

(平気な風をわざとらしく装いつつ) もー変なこと言うから、話よくわからなくなったー。

熊埜御堂

最初からやってよ。

蔵五

は？

熊埜御堂

もういつかーい

蔵五

いらつとするわー。もう絶対ふるえあがらせてやる

熊埜御堂

・ ・ ・ ・ ・
これは、学生の頃友人に

蔵五

といいつつホントは知らない人っていうかホントか嘘かもわからない

熊埜御堂

・ ・ ・ ・ ・
話んだけど。その子が、子どもの頃、一時期

蔵五

日本海側の

熊埜御堂

海辺の町に住んでた事があるらしいんだけど

蔵五

その町の外れに断崖絶壁があつて、その上に古びた

熊埜御堂

2×4住宅

蔵五

が

熊埜御堂

激しい自己主張を持ちつつ

蔵五

ひっそりと建っていたらしいのね

熊埜御堂

何の話よ

蔵五

アంతのせいよ！

熊埜御堂

もう。ちよつと黙つてて

蔵五

ミッファイ(口の前に指で×マークを作る)

熊埜御堂

(ちつ) あんたもうアラサーでしょ

・ ・ ・ ・ ・
これは、学生の頃の友人の話んだけど。その子が、子どもの頃、一時期海辺の町に住んでた事があるらしいんだけど。

蔵五 その町の外れに断崖絶壁があつてね。その上に古びた洋館がひっそりと建っていたらしいのね
その洋館には顔の肉の柔らかい、大きなリボンを付けた小さな女の子と、顔にこれ見よがしな傷のあるもぐりの医者が住んでい
て、その名を人呼んで

熊埜御堂 ブラックジャック（ぐんと、蔵五を押す）

蔵五 いたい

熊埜御堂、蔵五の手をミツフィーの口にして、黙らせる。

熊埜御堂

・・・ええと。で、断崖絶壁の上に古びた洋館が、ひっそりと建っていたの。「あの建物、何？」その町に越してすぐ、その洋館
についてクラスメイトに聞いたら、皆、急に静まり返って「その話は、できないの」「どうして」と聞き返しても「・・・」答え
てくれない。そのうち一人が「のろ・

蔵五、熊埜御堂にもすごくアピールしながら泣きだす勢い。

熊埜御堂

近い近い

蔵五

やめようよう。

熊埜御堂

こわいんじょ

蔵五

こわくない

熊埜御堂

そのうち一人が「呪いが

蔵五

あーあーあーあーあー

熊埜御堂

こわいんだ

蔵五

こわ

熊埜御堂

・・・

蔵五

・・・いす。

熊埜御堂

ふ。(やや満足気)

蔵五

・・・だからね。

熊埜御堂

・・・怪談ナイトはいいと思うけどさ。なんかこうもつと違った切り口の怖い話にしよう。
は？

蔵 五
怖いけど、怖すぎないみたいな
うん？

蔵五
怖いのが苦手な人も来られる方がいいじゃない
んー、いーけど。まあ。

蔵・熊
・・・・・・・・・・・・・・・・

熊埜御堂
ねえ、それっておもしろいのかな

蔵五
あ

熊埜御堂
何？何か思いついた？

蔵 五
・・・・（気を持たせて）

熊埜御堂
・・・・

蔵 五
抜いても抜いても伸びてくる、毛。

熊埜御堂
（間）・・・・

蔵 五
・・・・・・・・こわっ。

熊埜御堂
うそ

蔵 五
この辺からよ。一本だけよ。常にこんくらい長さがあるのよ。夜抜いても翌朝完全復活よ。

熊埜御堂
それが仮に怖いとしても、その話で人が呼べると思う？

蔵 五
うん

熊埜御堂
あー。何かないかな。絶妙に怖い話

蔵 五
うん

熊埜御堂
んー
難しいなあ

と、蔵五のスマホの着信音

蔵 五
あ、おっくん

熊埜御堂
彼氏？

熊埜御堂、手で蔵五に「出ていいよ」と促す

蔵 五

もしもし

え？また？うそ？えく……。うん。うん。わかった。

蔵五、電話を切り、呆然とする

熊埜御堂

どうかした？

蔵 五

おっくんが

熊埜御堂

彼氏が？

蔵 五

またネコ拾ったって

蔵五・熊

こわ

照明、CO

「怖い話」おわり